

日本海側の冷温帯を代表する

ブナの極相林

万波ブナ希少個体群保護林

まんなみ

設定目的

日本海側の冷温帯を代表するブナがまとまって分布していることや、比較的低い標高(一、〇〇五〜一、五九六m)にもかかわらず、イワイチヨウ、コバイケイソウ、チングルマ等の高山性の植物が分布していること、また、湿地を生息域とするモリアオガエル、クロサンショウウオ、オオルリヤマトンボ等が生息しているため保護しています。

地況

岐阜県北部飛騨山地の一端に位置する多雪(湿雪)地帯となつています。中腹から下部にかけては褐色森林土、上部にはポトソル化土壌が分布しています。

所在地
岐阜県飛騨市



国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年(大正4年)以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。



※詳細は、コードを読み込んでください。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイアルイン：026-236-2612